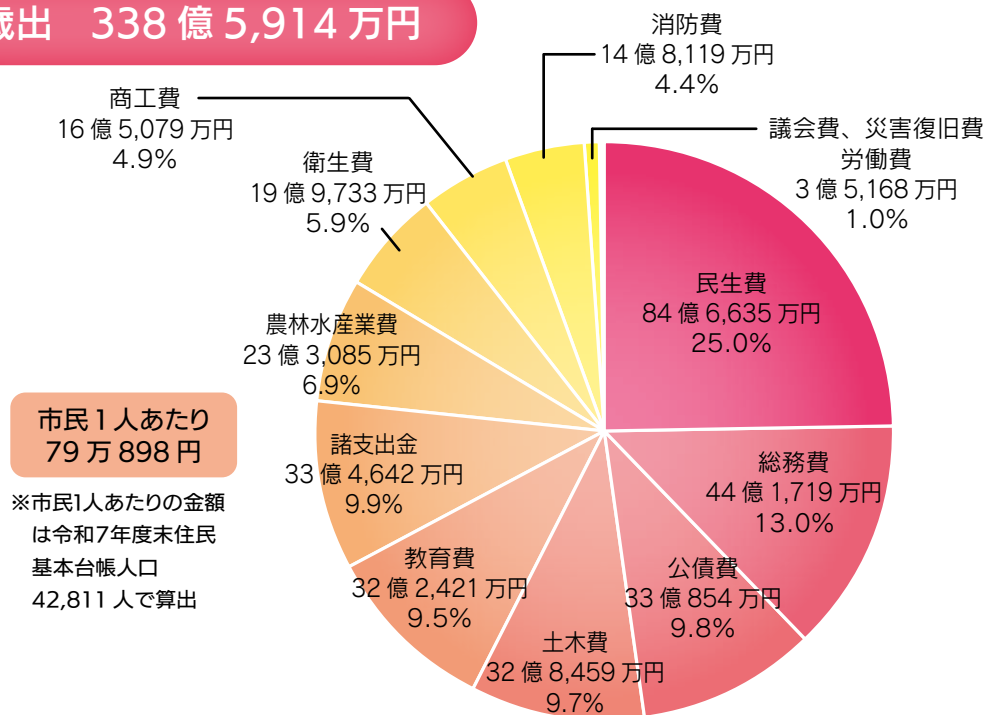




詳しく知りたい人は二次元コードを読み取っていただき、市ホームページをご覧ください。

令和7年度 決算状況報告

歳出 338 億 5,914 万円



市民 1 人あたり
79 万 898 円

※市民1人あたりの金額
は令和7年度末住民
基本台帳人口
42,811 人で算出

市債残高 317 億 8,987 万円

施設整備など大規模な事業を行う際に、銀行等から借入れた市の「借金」です。(前年度比3億 2,392 万円増)

市民 1 人あたり
74 万 2,600 円

基金残高 134 億 4,999 万円

特定の目的のために資金を積み立てたり、運用したりする市の「貯金」です。(前年度比3億 2,590 万円増)

市民 1 人あたり
31 万 4,200 円

特別会計 (単位：万円、%)

会計	歳入		歳出		基金残高		市債残高	
	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率
国民健康保険 (保険事業)	574,355	-4.8	567,670	-5.4	30,720	-34.7	0	—
国民健康保険 (直営診療所)	14,468	3.3	14,468	3.3	0	—	8,938	-1.9
後期高齢者医療	101,495	9.7	98,156	9.3	0	—	0	—
介護保険 (保険事業)	536,823	0.8	525,938	2.0	59,209	9.0	0	—
介護保険 (介護サービス事業)	2,877	-15.1	2,877	-15.1	0	—	0	—
土地開発事業 (企業団地)	3,770	6.6	150	13.5	0	—	0	—
産業廃棄物最終処分事業	18,775	82.9	7,909	42.8	56,414	-17.2	0	—
国民宿舎事業	1,283	-44.0	1,283	-43.8	12,630	8.1	0	—

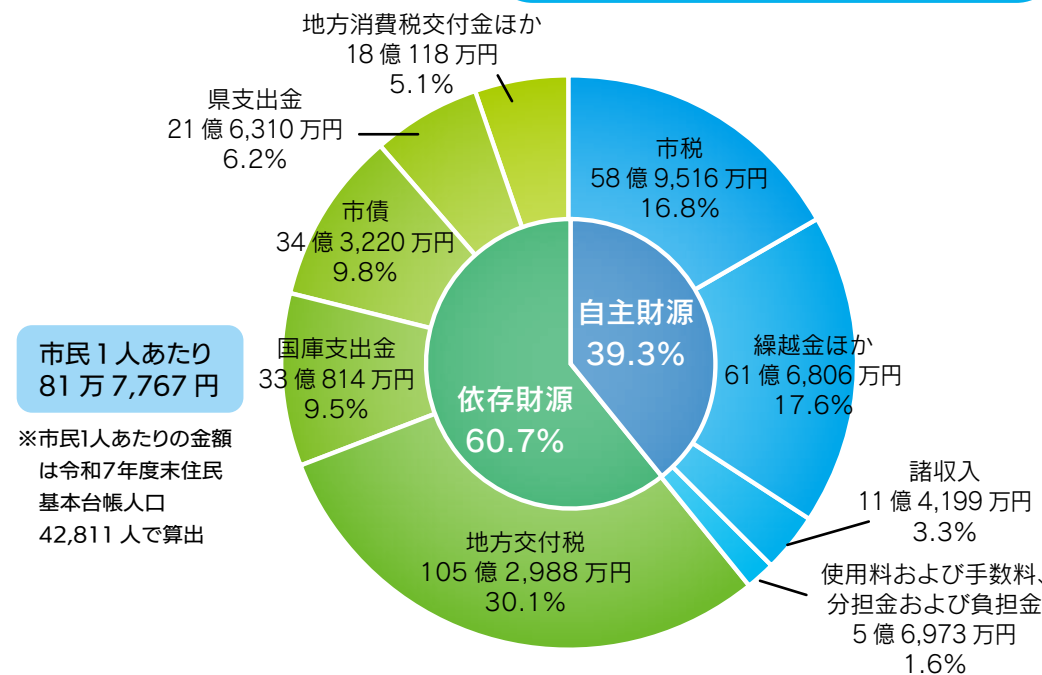
企業会計 (単位：万円、%)

下水道	決算額	増減率
収益的収入	224,559	-1.2
収益的支出	216,221	-2.8
資本的収入	268,214	35.1
資本的支出	347,895	24.3
企業債残高	2,426,233	0.3

市の会計は「一般会計」と、特定の事業を一般会計から独立した予算で行うために設置される「特別会計」があります。その他、独立採算により特定の事業を行うことを目的に設置される「企業会計」があります。

※一般会計決算状況を「月収 30 万円の家計」に例えた「南あわじ市の家計簿」については、市ホームページに掲載の「令和7年度の決算概要」をご覧ください

歳入 350 億 944 万円



市民 1 人あたり
81 万 7,767 円

※市民1人あたりの金額
は令和7年度末住民
基本台帳人口
42,811 人で算出

決算の概要

歳入は、昨年度と比較して、寄附金、地方特例交付金の減があった一方で、国の税収増に伴う再算定による普通交付税の追加交付等により地方交付税の増、定額減税措置の終了に伴う市税の増、市債および基金取りくずしによる繰入金の増などの影響により全体では7.9%のプラスとなりました。歳出では、昨年度と比較して、灘黒岩水仙郷リニューアル事業や治水総合対策事業が減少した一方で、大鳴門橋周辺環境整備事業や防災行政無線更新事業の増加の影響から投資的経費は増となりました。またシステム標準化や学校徴収金の公会計化などの影響により、全体では7.3%のプラスとなりました。

令和7年度一般会計の決算額は、歳入が350億944万円、歳出が338億5914万円でした。そのうち令和8年度へ事業を繰り越して使う財源を差し引いた実質収支は、8億7847万円となり、黒字決算となりました。また、各種財政指数については、国の示す早期健全化基準等の数値を下回る結果となりました。今後も市債発行の抑制と自主財源の確保に努め、健全で持続可能な行財政運営を進めてまいります。

健全化判断比率 (単位: %)			
指標	南あわじ市		
	R7年度	R6年度	
実質赤字比率 (普通会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	—	—	12.70 20.00
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	—	—	17.70 30.00
実質公債費比率 (借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度を見る比率)	11.1	12.8	25.0 35.0
将来負担比率 (市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を見る比率)	41.5	35.5	350.0 —

※赤字が生じない場合は、「—」と表示

資金不足比率 (単位: %)			
指標	南あわじ市		
	R7年度	R6年度	
資金不足比率 (企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る比率)	—	—	20.0 会計ごとに算定

※資金不足が生じない場合は、「—」と表示



詳しく知りたい人は二次元コードを読み取っていただき、市ホームページをご覧ください。

1 職員の任免および職員数に関する状況

①職員の採用・退職の状況

【採用】令和7年4月2日～令和8年4月1日 【退職】令和7年4月～令和8年3月

事務職	保健師	保育士	計	定年退職	希望退職	普通退職	懲戒免職	計
10人	0人	1人	11人	1人	1人	15人	0人	17人

※採用は競争試験により採用した人数

②職員数の状況(各年度の4月1日現在)

(単位:人)

区分	一般行政部門		特別行政部門		公営企業など				合計
	福祉以外	福祉	教育	消防	病院	水道	下水道	その他	
令和8年度	230	121	75	2	4	9	11	19	471
令和7年度	231	123	74	1	5	10	11	22	477

※水道部門は、淡路広域水道企業団への派遣職員

※職員数は、国・県派遣職員を含む全職員数(短時間勤務職員を除く)

2 職員の給与の状況

①人件費(普通会計決算)

区分	歳出額合計	人件費	人件費率
令和7年度	33,893,316千円	5,828,728千円	17.2%
令和6年度	31,560,976千円	5,332,762千円	16.9%

※人件費には、市長・議員等特別職の給与や報酬などを含む

※人件費率は、普通会計決算額全体に対する人件費の割合

③職員給与費(令和8年度普通会計予算)

職員数 (A)	給与費				1人当たり 給与費 (B/A)
	給料	期末・ 勤勉手当	職員手当	計(B)	
447人	1,828,129 千円	796,028 千円	338,826 千円	2,962,983 千円	6,629 千円

※職員数は令和8年度当初予算における普通会計に属する職員数(特別職を除く)

④職員の平均年齢と平均給料月額、平均給与月額(令和8年4月現在)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	43歳2ヶ月	353,794円	393,856円
技能労務職	55歳6ヶ月	331,857円	361,734円

※平均給与月額＝給料に諸手当を含む

《職員手当の内訳》

扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、特殊勤務手当、
時間外勤務手当、宿日直手当、管理職手当等

⑥一般行政職の級別職員数(令和8年4月1日現在)

区分	主な役職	職員数	構成比
7級	監・部長	17人	3.6%
6級	副部長・事務局長・課長	45人	9.7%
5級	所長・主幹・副課長・室長	80人	17.1%
4級	係長・参事・主任	158人	33.8%
3級	主査	92人	19.7%
2級	主事	33人	7.1%
1級	事務員	42人	9.0%
計		467人	

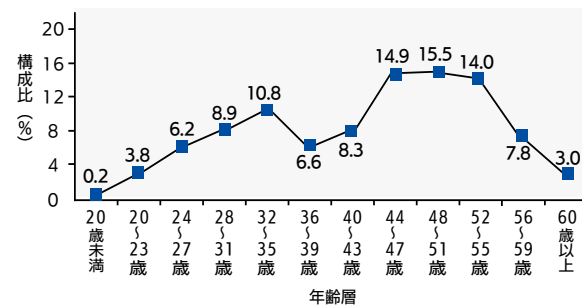
※一般行政職＝医師・看護師・技能労務職等の専門職は含まない

市職員の任免や給与の実態をお知らせします。詳細は市ホームページをご覧ください。

☎総務課 43-5001



③年齢層別職員の構成比(令和8年4月1日現在)

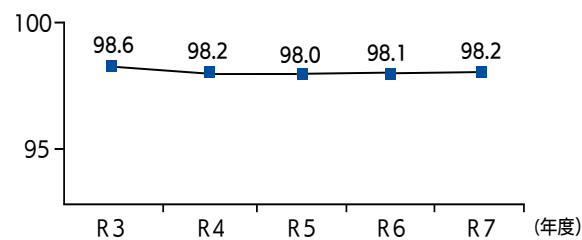


②ラスパイレ指数(令和7年度)

南あわじ市	類似団体平均	全国市平均
98.2	97.3	98.7

※ラスパイレ指数＝国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数

※類似団体平均＝人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレ指数を平均したもの



⑤期末・勤勉手当(令和7年度実績)、退職手当(令和8年3月31日現在)

期末・勤勉手当支給割合			退職手当支給割合		
支給期	期末手当	勤勉手当	区分	自己都合	希望・定年
6月期	1.250月分	1.050月分	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
12月期	1.275月分	1.075月分	勤続30年	34.7355月分	40.80375月分
合計	2.525月分	2.125月分	最高限度	47.709月分	47.709月分

3 職員のサービスの状況

①年次休暇の取得状況(令和7年1月～12月)

対象人数	総付与日数	総取得日数	取得率	平均取得日数
420人	16,324日	4,846日	29.7%	11.5日

※対象人数は、全期間在職した者とし、育児休業者や休職者等を除く

②育児休業、部分休業の取得状況(令和7年度)

区分	取得者	うち新規取得者
育児休業	28人	13人
部分休業	19人	6人

※これらの休業制度は無給

主な令和7年度事業

大鳴門橋周辺環境整備事業

商工費

10億6,264万円

観光交流人口の増加を目的に、道の駅うずしおのリニューアル工事をはじめとした大鳴門橋周辺環境整備を行っています。



旧三原庁舎跡地公園整備事業

土木費

2億5,766万円

幅広い年齢層の利用者がレクリエーション活動などに利用できる拠点として、防災機能を備えた公園を整備しました。



GIGAスクール構想事業

教育費

1億265万円

市内の全児童・生徒に1人1台配備しているLTE対応タブレット端末の更新を実施しました。



浮体式多目的公園改修事業

農林水産業費

4,954万円

施設の長寿命化のため、連絡橋の老朽化対策工事等を行っています。



社会参加支援事業

民生費

436万円

障害などの理由から「短い時間で働きたい」という人が活躍する場を作ること目指し、事業所とつなぐ支援を行いました。



防災行政無線更新事業

消防費

4億3,007万円

整備から約10年が経過する防災行政無線の老朽化対策として、システムの再整備工事を実施しています。



小学校音楽室空調整備事業

教育費

1億829万円

小学校の授業環境改善や熱中症対策のため、市内小学校音楽室に空調の整備を行いました。



民間賃貸住宅建設等促進事業

土木費

7,417万円

移住・定住人口の増加と市内就労人材を確保するため、賃貸住宅等を整備する費用の一部を補助しました。



「世界一の食の島」推進事業

商工費

538万円

淡路島の多彩な食材を活用した「世界一の食の島」を目指し、食の街区形成検討やイベントを実施しました。



大阪・関西万博関連事業

商工費

345万円

淡路島の伝統芸能や産業、食などの魅力をPRするため、淡路島万博催事実行委員会として万博催事に参加しました。

